

表3 リハビリテーション医療の評価項目に関する専門家の意識調査の結果

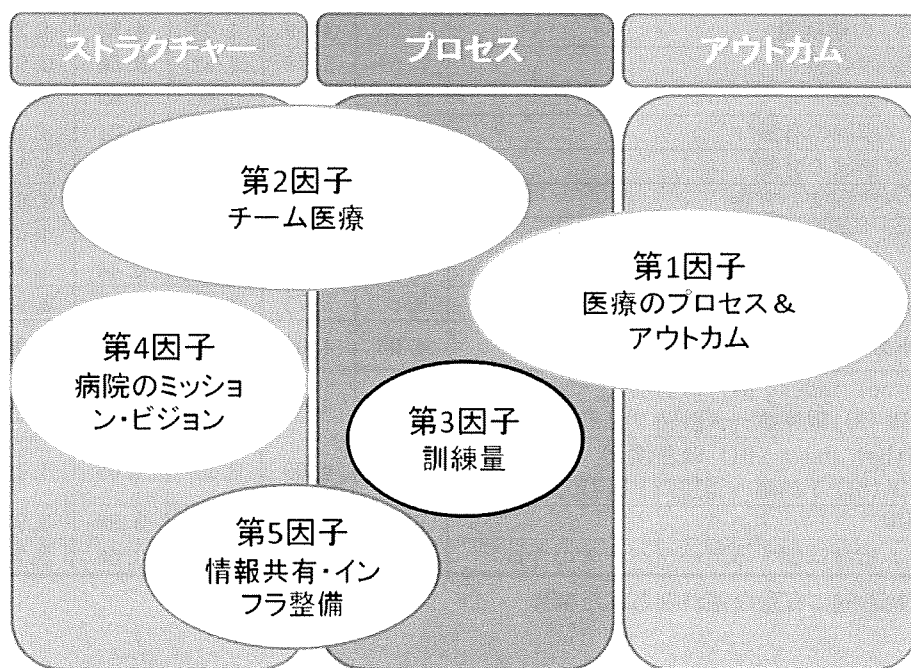
調査項目	平均値 (5点満点)					
	全体	MD	PT	OT	ST	Nr.
(1) ストラクチャーに関する項目	4.22	4.32	4.12	4.26	4.26	4.27
①病院の運営理念・職員への周知の有無*	3.85	4.30	3.71	3.85	3.90	3.89
②職員教育に関する予算の有無	3.76	4.00	3.70	3.79	3.71	3.74
③各職種に対して教育プログラムの実施の有無	4.16	4.33	4.04	4.27	4.26	4.12
④院内外の研究会・研修会・学会・講演会への全職種の参加の有無	3.98	4.26	3.87	4.03	4.00	3.85
⑤各職種間での情報交換の有無	4.72	4.74	4.67	4.74	4.81	4.72
⑥各職種と週1回以上ミーティングの有無	4.17	4.26	4.06	4.22	4.12	4.28
⑦リハビリテーション専門医の有無*	4.35	4.41	4.16	4.44	4.43	4.50
⑧専属リハビリテーション医の有無*	4.22	4.22	4.06	4.24	4.33	4.41
⑨医療チームのまとまりの有無	4.69	4.63	4.65	4.73	4.69	4.74
⑩専門人材(セラピスト, 専門看護師, ソーシャルワーカーなど)の配置	4.64	4.70	4.62	4.66	4.69	4.63
⑪病院の構造・インフラの整備	4.14	4.19	3.98	4.19	4.14	4.29
⑫電子カルテなど情報一元化のインフラの整備	3.96	3.78	3.88	4.00	3.98	4.04
(2) プロセスに関する項目	3.96	4.02	3.88	3.94	3.94	4.08
①入院からリハ開始日までの日数	4.46	4.63	4.47	4.48	4.36	4.44
②在院日数	3.88	3.56	3.86	4.03	3.86	3.84
③カンファレンス回数	3.78	3.70	3.67	3.85	3.76	3.88
④PT, OT, STの訓練量	4.38	4.59	4.43	4.32	4.24	4.31
⑤日曜日訓練の有無*	3.69	3.78	3.52	3.56	3.81	3.97
⑥祝日訓練の有無*	3.76	3.89	3.62	3.69	3.81	3.98
⑦モーニング訓練の有無*	3.36	3.56	3.14	3.21	3.19	3.82
⑧イブニング訓練の有無*	3.32	3.67	3.07	3.17	3.17	3.78
⑨病棟スタッフ訓練の有無	4.09	4.26	4.01	4.10	4.02	4.13
⑩障害の評価, 予後予測, 目標設定の有無	4.59	4.48	4.60	4.67	4.64	4.50
⑪中間評価・モニタリングの実施	4.40	4.41	4.34	4.44	4.50	4.38
⑫院内パスや地域連携パスの浸透度	3.86	3.73	3.85	3.79	3.93	3.92
(3) アウトカムに関する項目	4.03	4.06	4.06	3.99	4.01	4.02
①FIM (Barthel index : BI) 改善度① (退院時 FIM (BI) 観察値 - 入院時 FIM (BI) 観察値)	4.20	4.15	4.19	4.28	4.20	4.16
②FIM (Barthel index : BI) 改善度② (退院時 FIM (BI) 予測値 - 退院時 FIM (BI) 観察値)	4.04	4.00	3.98	4.06	4.10	4.10
③在宅復帰率	3.98	3.78	4.01	3.98	3.93	3.99
④アウトカム指標に関するデータベースの作成*	3.90	4.30	4.04	3.66	3.75	3.91

* 職種別に統計的に有意な差がみられた項目

表4 リハビリテーションにおける「医療の質」にかかわる因子分析の結果

項目	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子
在宅復帰率	0.75	医療のプロセス&アウトカム ($\alpha = .79$)			
FIMの改善度	0.74				
データベースの作成	0.68				
在院日数	0.57				
医療チームのまとめり		0.72	チーム医療 ($\alpha = .82$)		
カンファレンス		0.67			
リハビリテーション医の配置		0.64			
医療計画・中間評価・モニタリング		0.50			
PT, OT, ST 訓練			0.80	訓練量 ($\alpha = .83$)	
平日以外の訓練			0.73		
病棟スタッフ訓練			0.67		
病院の運営理念&職員への周知	病院のミッション・ビジョン ($\alpha = .64$)		0.69		
職員教育			0.69		
病院のインフラ整備	情報共有・インフラ整備 ($\alpha = .52$)				0.81
情報一元化のインフラの整備					0.79
回転後の負荷量平方和	3.11	2.90	2.65	2.45	1.95

図1 医療の質の構成



V. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果に関する一覧表 (2007-2009)

2007-2009

著者氏名	論文タイトル名
近藤克則	<p>【書籍】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近藤克則他：「リハビリテーション実施状況」、『脳卒中データバンク 2009』, 小林祥泰編：46-47. 2009 2. 近藤克則他：「リハビリテーション患者データベースとの連携の可能性」、『脳卒中データバンク 2009』, 小林祥泰編：190-192, 2009 3. 近藤克則：『医療・福祉マネジメント福祉社会開発に向けて』ミネルヴァ書房, 2007. <p>【雑誌】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鄭丞媛、近藤克則、井上祐介 (2010) 「リハビリテーションにおける「医療の質評価指標」開発に向けた因子分析」『日本医療経営学会誌』(印刷中) 2. Seungwon Jeong, Katsunori Kondo, et al (2010). An evaluation of the quality of post-stroke rehabilitation in Japan, <i>Clinical Audit</i> (in press) 3. 武田啓子, 白石成明, 柏原正尚, 鄭丞媛, 近藤克則：「回復期リハビリ病棟における在院日数 150 日を超える患者の特徴 - リハビリテーション患者データベース登録データを活用して - 健康科学論集」(印刷中) 4. 近藤克則・鄭丞媛 (2010) 「オーバービュー：症例登録データベースの現状と課題」『JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION』19, (4), 377-382 . 5. 近藤克則 (2009.02.20) 「第1章 4.保健・医療・福祉の連携 (介護保険制度)」米.監.石.石.江. 宮野佐年 (編集) 「最新リハビリテーション医学 第2版」医歯薬出版, 18-23. 6. 近藤克則 (2009) 「医療・介護保険制度改革とリハビリテーション医学の課題」『Jpn J Rehabil Med 46』46, (1), 41-46. 7. 白石成明・近藤克則 (2009) 「日常生活動作 (ADL) の評価と帰結予測」『Current Therapy』27, (1), 57-62. 8. 鄭丞媛, 近藤克則, 井上祐介：「米国における医療の質に基づく支払 (pay for performance : P4P) の動向と日本への示唆(上)」社会保険旬報 2396(8.11) : 10-15, 2009 9. 鄭丞媛、近藤克則、井上祐介 (2009) 「米国における医療の質における支払 (P4P) の動向と日本への示唆 (下)」『社会保険旬報』2397 (2009.08.21), 20-34. 10. 中崎喜英, 伊勢眞樹：「倉敷における脳卒中・地域完結型リハビリテーション」, <i>Monthly Book Medical Rehabilitation</i>. 102 : 53-62, 2009 11. 伊勢眞樹他：「脳卒中リハビリテーションデータベースを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方法の比較」『リハビリテーション医学』, 45 : S247, 2008

12. 近藤克則, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫:「リハビリテーションにおける帰結研究-脳卒中を中心に. 大規模データベースとデータバンク」, 総合リハビリテーション 36(1):23-27, 2008
13. 門祐輔, 中村紀子, 中川裕美子, 松灘里佳, 中川雄二, 山鹿眞紀夫, 近藤克則:「脳卒中の地域連携と「効率」-脳卒中リハビリテーション患者データバンクに基づく検討-」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S248, 2008.
14. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎:「脳卒中データバンクと脳卒中リハビリテーションデータバンクの連結の試み」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S248, 2008.
15. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏:「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
16. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方と比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S247, 2008.

【学会発表】

1. 松本大輔, 白石成明, 鄭丞媛, 小嶋健一, 柏原正尚, 杉山統哉, 武田啓子, 近藤克則:「糖尿病の有無が脳卒中患者のリハビリテーションの帰結に与える影響-リハビリテーション患者データバンクを用いた検討-」, 第45回日本理学療法学会大会(2010, 岐阜) 口述発表予定
2. Hitoshi Shimada, MD, PhD, Toshiomi Asahi, MD, Miki Ohgushi, MD, PhD, Chika Tanaka, MD, Sunwon Jeong, Hitoshi Nishimura, MD, PhD, Tadato Oikawa, MD, Makio Yamaga, MD, PhD, Katsunori Kondo, MD, PhD.: Obstructive factors of the physical rehabilitation in elderly patients with cognitive decline. The Alzheimer's Association International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD) 2010.7 発表予定
3. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 鄭丞媛, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ DB の開発 (第6報) 在院日数関連因子の状況・多施設共同研究」, 第47回日本リハビリテーション医学会学会集會, 2010. 5 発表予定
4. 杉山統哉, 田中宏太佳, 鄭丞媛, 松本大輔, 近藤克則:「脳卒中患者の歩行自立に影響する因子についての検討-リハビリテーション患者データバンクを使用して-」, 第18回愛知県理学療法学会大会(2010. 3. 7, 愛知) 口述発表予定
5. 杉山統哉, 田中宏太佳, 鄭丞媛, 松本大輔, 近藤克則:「介護力の有無が脳卒中患者

	<p>の歩行状態に与える影響についてーリハビリテーション患者データベースを使用し てー」, 第45回日本理学療法学会(2010, 岐阜)発表予定</p> <p>6. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハ患者データベースの開発とデータ概要」, 第4回リハビリテーション科専門医会学術集会, 2009.10</p> <p>7. 島田斉, 旭俊臣, 山鹿眞紀夫, 田中智香, 大串幹, 西村一志, 及川忠人, 近藤克 則:「認知症はリハビリテーションの阻害因子となり得るか?認知症患者のリハビリ テーション患者データベース開発に関する研究」, 第46回日本リハビリテーション医 学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6</p> <p>8. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則: 「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データベースの開発(第3報)入力支援」, 第46回日 本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(ポスター), 2009.6</p> <p>9. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則: 「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データベースの開発(第4報)データ概要」, 第46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(ポスター), 2009.6</p> <p>10. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 嶋下博, 原寛美, 西村尚志, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリ テーション患者データベース登録データを用いた病院間比較(第1報)治療成績ベンチ マークの開発」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6</p> <p>11. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 嶋下博, 西村尚志, 原寛美, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリ テーション患者データベース登録データを用いた病院間比較(第2報)ベンチマーク指 標の妥当性」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6</p> <p>12. 近藤克則他:「脳卒中リハビリテーション患者データベースの現状と課題」, 第43回 日本作業療法学会(2009年6月福島)</p> <p>13. 近藤克則他:「リハビリテーション医療における「治療成績」の病院間比較 PT・OT・ STの訓練量を中心に」, 第43回日本作業療法学会(2009年6月福島)</p> <p>14. 近藤克則他:「リハビリテーション患者データベースによる一般病棟脳卒中患者の帰 結予測に関する研究」, 第44回日本理学療法学会(2009年5月東京)</p> <p>15. 近藤克則他:「脳卒中リハビリテーション患者データベース登録データの病型分類に よる基礎解析」, 第44回日本理学療法学会(2009年5月東京)</p> <p>16. 門祐輔, 中村紀子, 中川裕美子, 松灘里佳, 中川雄二, 山鹿眞紀夫, 近藤克則:「脳 卒中の地域連携と「効率」(第2報)ー脳卒中リハビリテーションに基づく検討」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.</p>
--	---

17. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎 : 「脳卒中データバンク (DB) とリハビリDBとのデータ連結の脳卒中地域連携パスへの応用の試み」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
18. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志 : 「リハビリテーション患者データバンクの登録データによる Barthel Index 効率と関連する因子の基本的検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
19. 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 吉田清和, 旭俊臣, 金澤親良, 田中智香, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則 : 「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み (第 1 報) 概要と基本コンセプト」, 第 45 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題 (口演), 2008. 6
20. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 近藤克則, 旭俊臣, 及川忠人, 西村一志, 金澤親良, 中村哲雄 : 「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み (第 2 報) 基本仕様と入力項目の紹介」, 第 45 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題 (口演), 2008. 6

山口 明

【雑誌】

1. 山口明：「リハビリテーション患者データバンク」，臨床リハビリテーション，連載企画，19巻，2010(投稿中)。
2. 近藤克則，山口明，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫：「リハビリテーションにおける帰結研究-脳卒中を中心に. 大規模データベースとデータバンク」，総合リハビリテーション 36(1)：23-27，2008.
3. 山鹿眞紀夫，田中智香，伊勢眞樹，山口明，伊勢眞樹，宮井一郎，鴨下博，原寛美，西村尚志，門祐輔，寺崎修司：「2006 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化-脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討-」 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S207，2008.
4. 寺崎修司，山鹿眞紀夫，伊勢眞樹，近藤克則，小林祥泰，山口明，宮井一郎：「脳卒中データバンクと脳卒中リハビリテーションデータバンクの連結の試み」 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S248，2008.
5. 近藤克則，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，西村尚志，鴨下博，原寛美，寺崎修司，豊田章宏：「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S207，2008.
6. 伊勢眞樹，近藤克則，山口明，山鹿眞紀夫，宮井一郎，寺崎修司，豊田章宏，原寛美，鴨下博，西山尚志：「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方方の比較」 The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S247，2008.

【学会発表】

1. 近藤克則，鄭丞媛，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，旭俊臣，大串幹，鴨下博，西村尚志，原寛美，吉田清和，寺崎修司，豊田章宏，小林祥泰：「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第2報)ベンチマーク指標の妥当性」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題(口演) 2009. 6
2. 近藤克則，鄭丞媛，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，旭俊臣，大串幹，鴨下博，原寛美，西村尚志，吉田清和，寺崎修司，豊田章宏，小林祥泰：「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第1報)治療成績ベンチマークの開発」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題(口演) 2009. 6.
3. 山口明：「脳卒中リハビリテーションデータベース開発の研究(第2報)」，日本脳卒中学会，2009. 3. 22，松江.
4. 山鹿眞紀夫，田中智香，伊勢眞樹，山口明，伊勢眞樹，宮井一郎，鴨下博，原寛美，

西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006/2008 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化—脳卒中リハ患者DB登録データによる検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.

5. 寺崎修司, 山鹿真紀夫, 伊勢真樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎:「脳卒中データバンク (DB) とリハビリDBとのデータ連結の脳卒中地域連携パスへの応用の試み」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
6. 伊勢真樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿真紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「リハビリテーション患者データバンクの登録データによる Barthel Index効率と関連する因子の基本的検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.

【報告書】

山口明他:「高齢者の地域リハビリテーション体制の構築に関する研究」, 厚生労働科学研究費補助金・長寿科学総合研究事業, 平成 17~18 年度総合研究報告書. 同平成 18 年度総括研究報告書.

伊勢眞樹

【書籍】

「急性期・回復期リハの連携と今後の方向性」、『脳卒中リハビリテーション連携パス基本と実践のポイント』, 日本リハビリテーション医学会監, 医学書院: 206, 2007

【雑誌】

1. 中崎喜英, 伊勢眞樹:「倉敷における脳卒中・地域完結型リハビリテーション」, Monthly Book Medical Rehabilitation, 102: 53-62, 2009
2. 伊勢眞樹他:「リハビリテーション患者データバンクの登録データによる Barthel Index 効率と関連する因子の基礎的検討」, リハビリテーション医学, 46: S305, 2009
3. 伊勢眞樹他:「脳卒中リハビリテーションデータバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方の比較」, リハビリテーション医学, 45: S247, 2008
4. 近藤克則, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫:「リハビリテーションにおける帰結研究-脳卒中を中心に. 大規模データベースとデータバンク」, 総合リハビリテーション, 36(1):23-27, 2008
5. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化-脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討-」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
6. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎:「脳卒中データバンクと脳卒中リハビリテーションデータバンクの連結の試み」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S248, 2008.
7. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏:「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
8. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西村尚志:「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方の比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S247, 2008.

【学会発表】

1. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 西村尚志, 原寛美, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 2 報)ベンチマーク指標の妥当性」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009. 6

2. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第1報)治療成績ベンチマークの開発」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6
3. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006/2008年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化—脳卒中リハ患者DB登録データによる検討」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
4. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎:「脳卒中データバンク(DB)とリハビリDBとのデータ連結の脳卒中地域連携パスへの応用の試み」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
5. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「リハビリテーション患者データバンクの登録データによる Barthel Index 効率と関連する因子の基本的検討」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
6. 伊勢眞樹:「脳卒中リハデータバンクを用いたリハ科医と脳卒中科医のリハ処方と比較」, 第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2008.6. 横浜.
7. 伊勢眞樹他:「脳卒中リハデータバンクを用いたリハ科医と脳卒中科医のリハ処方と比較」, 第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2008.6. 横浜.

【その他】

伊勢眞樹・小原謙一:リハビリテーション患者DBの分析. 平成19-21年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)

山鹿眞紀夫

【雑誌】

1. 山鹿眞紀夫：「回復期リハにおける電子カルテの検証と展望－チーム医療の中での電子カルテの運用と課題－」, 全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会第13回研究大会 in 大阪 抄録集：30, 2009.
2. 近藤克則, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫：「リハビリテーションにおける帰結研究-脳卒中を中心に. 大規模データベースとデータバンク」, 総合リハビリテーション 36(1):23-27, 2008
3. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司：「2006年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化－脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討－」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S207, 2008.
4. 門祐輔, 中村紀子, 中川裕美子, 松灘里佳, 中川雄二, 山鹿眞紀夫, 近藤克則：「脳卒中の地域連携と「効率」－脳卒中リハビリテーション患者データバンクに基づく検討－」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S248, 2008.
5. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎：「脳卒中データベースと脳卒中リハビリテーションデータベースの連結の試み」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S248, 2008.
6. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏：「脳卒中リハビリテーション患者データベースの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S207, 2008.
7. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志：「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S247, 2008.
8. 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 吉田清和, 旭俊臣, 金澤親良, 田中智香, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則：「大腿骨頸部骨折患者データベース開発の試み（第1報）概要と基本コンセプト」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S258, 2008.
9. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 近藤克則, 旭俊臣, 及川忠人, 西村一志, 金澤親良, 中村哲雄：「大腿骨頸部骨折患者データベース開発の試み（第2報）基本仕様と入力項目の紹介」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号：S258, 2008.

【学会発表】

1. Hitoshi Shimada, MD, PhD, Toshiomi Asahi, MD, Miki Ohgushi, MD, PhD, Chika

Tanaka, MD, Sunwon Jeong, Hitoshi Nishimura, MD, PhD, Tadato Oikawa, MD, Makio Yamaga, MD, PhD, Katsunori Kondo, MD, PhD.: Obstructive factors of the physical rehabilitation in elderly patients with cognitive decline. The Alzheimer's Association International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD) 2010.7 発表予定

2. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 鄭丞媛, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ DB の開発 (第 6 報) 在院日数関連因子の状況・多施設共同研究」, 第 47 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2010.5 発表予定
3. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハ患者データバンクの開発とデータ概要」, 第 4 回リハビリテーション科専門医会学術集会, 2009.10
4. 島田斉, 旭俊臣, 山鹿眞紀夫, 田中智香, 大串幹, 西村一志, 及川忠人, 近藤克則:「認知症はリハビリテーションの阻害因子となり得るか? 認知症患者のリハビリテーション患者データバンク開発に関する研究」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6
5. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データバンクの開発 (第 4 報) データ概要」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(ポスター), 2009.6
6. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データバンクの開発 (第 3 報) 運用と入力支援」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(ポスター), 2009.6
7. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 西村尚志, 原寛美, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 2 報)ベンチマーク指標の妥当性」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6
8. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 1 報)治療成績ベンチマークの開発」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6
9. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006/2008 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化—脳卒中リハ患者DB登録データによる検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
10. 門祐輔, 中村紀子, 中川裕美子, 松灘里佳, 中川雄二, 山鹿眞紀夫, 近藤克則:「脳卒中の地域連携と「効率」(第 2 報)—脳卒中リハビリテーションに基づく検討」, 第 46

回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.

11. 寺崎修司, 山鹿眞紀夫, 伊勢眞樹, 近藤克則, 小林祥泰, 山口明, 宮井一郎:「脳卒中データベース(DB)とリハビリDBとのデータ連結の脳卒中地域連携パスへの応用の試み」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
12. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 嶋下博, 西山尚志:「リハビリテーション患者データベースの登録データによるBarthel Index効率と関連する因子の基本的検討」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
13. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 近藤克則, 旭俊臣, 及川忠人, 西村一志, 金澤親良, 中村哲雄:「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み(第2報)基本仕様と入力項目の紹介」, 第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2008. 6
14. 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 吉田清和, 旭俊臣, 金澤親良, 田中智香, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み(第1報)概要と基本コンセプト」, 第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2008. 6

【書籍】

「北多摩北部二次医療圏における地域リハビリテーションの取り組みーリハビリ手帳について」、『地域完結型のリハビリテーションの実践』, 山鹿眞紀夫編, 全日本病院出版会 : 63-68, 2009.

【雑誌】

1. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司 : 「2006 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化ー脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討ー」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
2. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏 : 「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
3. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志 : 「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方と比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S247, 2008.

【学会発表】

1. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 西村尚志, 原寛美, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰 : 「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 2 報)ベンチマーク指標の妥当性」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009. 6
2. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰 : 「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 1 報)治療成績ベンチマークの開発」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009. 6
3. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司 : 「2006/2008 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化ー脳卒中リハ患者 DB 登録データによる検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
4. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏 : 「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 1 報)治療成績ベンチマークの開発」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.

- | | |
|--|---|
| | <ol style="list-style-type: none">5. 近藤克則，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，西村尚志，鴨下博，原寛美，寺崎修司，豊田章宏：「リハビリテーション患者データベース登録データを用いた病院間比較（第2報）ベンチマーク指標の妥当性」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，2009.6. 伊勢眞樹，近藤克則，山口明，山鹿眞紀夫，宮井一郎，寺崎修司，豊田章宏，原寛美，鴨下博，西山尚志：「リハビリテーション患者データベースの登録データによる Barthel Index 効率と関連する因子の基本的検討」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，2009. |
|--|---|

原 寛美	<p>【雑誌】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化ー脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討ー」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008. 2. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏:「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008. 3. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方と比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S247, 2008. <p>【学会発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 西村尚志, 原寛美, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 2 報) ベンチマーク指標の妥当性」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009. 6 2. 近藤克則, 鄭丞媛, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 旭俊臣, 大串幹, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 吉田清和, 寺崎修司, 豊田章宏, 小林祥泰:「リハビリテーション患者データバンク登録データを用いた病院間比較(第 1 報) 治療成績ベンチマークの開発」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009. 6 3. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006/2008 年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化ー脳卒中リハ患者DB登録データによる検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009. 4. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「リハビリテーション患者データバンクの登録データによる Barthel Index 効率と関連する因子の基本的検討」, 第 46 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2009.
------	--

西村尚志

【雑誌】

1. 山鹿眞紀夫, 田中智香, 伊勢眞樹, 山口明, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 鴨下博, 原寛美, 西村尚志, 門祐輔, 寺崎修司:「2006年度診療報酬改定前後での脳卒中リハビリテーション状況の変化ー脳卒中リハビリテーション患者データバンク登録データによる検討ー」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
2. 近藤克則, 伊勢眞樹, 宮井一郎, 山鹿眞紀夫, 山口明, 西村尚志, 鴨下博, 原寛美, 寺崎修司, 豊田章宏:「脳卒中リハビリテーション患者データバンクの到達点と課題」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S207, 2008.
3. 伊勢眞樹, 近藤克則, 山口明, 山鹿眞紀夫, 宮井一郎, 寺崎修司, 豊田章宏, 原寛美, 鴨下博, 西山尚志:「脳卒中リハビリテーションバンクを用いたリハビリテーション科医と脳卒中科医のリハビリテーション処方と比較」, The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine VOL. 45 特別号: S247, 2008.

【学会発表】

1. Hitoshi Shimada, MD, PhD, Toshiomi Asahi, MD, Miki Ohgushi, MD, PhD, Chika Tanaka, MD, Sunwon Jeong, Hitoshi Nishimura, MD, PhD, Tadato Oikawa, MD, Makio Yamaga, MD, PhD, Katsunori Kondo, MD, PhD. : Obstructive factors of the physical rehabilitation in elderly patients with cognitive decline. The Alzheimer's Association International Conference on Alzheimer's Disease (ICAD) 2010.7 発表予定
2. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 鄭丞媛, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ DB の開発 (第6報) 在院日数関連因子の状況・多施設共同研究」, 第47回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2010.5 発表予定
3. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 本田佳子, 水田博志, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハ患者データバンクの開発とデータ概要」, 第4回リハビリテーション科専門医会学術集会, 2009.10
4. 島田斉, 旭俊臣, 山鹿眞紀夫, 田中智香, 大串幹, 西村一志, 及川忠人, 近藤克則:「認知症はリハビリテーションの阻害因子となり得るか? 認知症患者のリハビリテーション患者データバンク開発に関する研究」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(口演), 2009.6
5. 田中智香, 大串幹, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則:「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データバンクの開発 (第3報) 運用と入力支援」, 第46回日本リハビリテーション医学会学術集会, 一般演題(ポスター), 2009.6
6. 大串幹, 田中智香, 山鹿眞紀夫, 西村一志, 旭俊臣, 及川忠人, 島田斉, 近藤克則:

「大腿骨頸部骨折リハビリ患者データベースの開発（第4報）データ概要」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題（ポスター），2009.6

7. 近藤克則，鄭丞媛，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，旭俊臣，大串幹，鴨下博，原寛美，西村尚志，吉田清和，寺崎修司，豊田章宏，小林祥泰：「リハビリテーション患者データベース登録データを用いた病院間比較（第1報）治療成績ベンチマークの開発」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題（口演），2009.6
8. 近藤克則，鄭丞媛，伊勢眞樹，宮井一郎，山鹿眞紀夫，山口明，旭俊臣，大串幹，鴨下博，西村尚志，原寛美，吉田清和，寺崎修司，豊田章宏，小林祥泰：「リハビリテーション患者データベース登録データを用いた病院間比較（第2報）ベンチマーク指標の妥当性」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題（口演），2009.6
9. 山鹿眞紀夫，田中智香，伊勢眞樹，山口明，伊勢眞樹，宮井一郎，鴨下博，原寛美，西村尚志，門祐輔，寺崎修司：「2006/2008年度診療報酬改定前後での脳卒中リハ状況の変化—脳卒中リハ患者DB登録データによる検討」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，2009.
10. 伊勢眞樹，近藤克則，山口明，山鹿眞紀夫，宮井一郎，寺崎修司，豊田章宏，原寛美，鴨下博，西山尚志：「リハビリテーション患者データベースの登録データによるBarthel Index 効率と関連する因子の基本的検討」，第46回日本リハビリテーション医学会学術集会，2009.
11. 大串幹，山鹿眞紀夫，西村一志，吉田清和，旭俊臣，金澤親良，田中智香，本田佳子，水田博志，近藤克則：「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み（第1報）概要と基本コンセプト」，第45回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題（口演）2008.6
12. 田中智香，大串幹，山鹿眞紀夫，近藤克則，旭俊臣，及川忠人，西村一志，金澤親良，中村哲雄：「大腿骨頸部骨折患者データベースの開発の試み（第2報）基本仕様と入力項目の紹介」，第45回日本リハビリテーション医学会学術集会，一般演題（口演），2008.6

宮井一郎

【書籍】

1. 宮井一郎：「脳科学からみた回復期リハ病棟におけるリハビリテーション」, 『回復期リハビリテーション病棟[第2版]』, 三輪書店：37-42, 2010
2. 宮井一郎：「脳血管障害による運動麻痺のリハビリテーション」, 『今日の治療指針2009』, 医学書院：709-710, 2009
3. 田中尚, 宮井一郎：「IV. 神経疾患のリハビリテーション 嚥下訓練」, 『神経疾患最新の治療2009-2011』, 南江堂：367-372, 2009
4. 三原雅史, 畠中めぐみ, 宮井一郎：「脳科学の進歩」, 『理学療法MOOK16 脳科学と理学療法』, 研究編1. fNIRS. 三輪書店：116-122, 2009
5. 関有香子, 畠中めぐみ, 三原雅史, 矢倉一, 宮井一郎：『脳卒中リハビリテーション連携パス. 基本と実践のポイント』, 日本リハビリテーション医学会診療ガイドライン委員会, リハビリテーション連携パス策定委員会編, 医学書院：139-144, 2007.
6. 宮井一郎：「脳に障害がある場合の器用さの学習のメカニズム-リハビリテーション医療への応用」, 久保田競, 宮井一郎, 虫明元：「ライブラリ脳の世紀-心臓のメカニズムを探る⑥『学習と脳』」サイエンス社：107-157, 2007.
7. 宮井一郎：「神経リハビリテーションと損傷脳の機能的再構成」, 脳を活かす研究会編. 『ブレイン・マシン・インターフェース. 脳と機械をつなぐ』, オーム社：140-155, 2007.

【雑誌】

1. 宮井一郎：「脊髄小脳変性症のリハビリテーション」, 難病と在宅ケア 15(10)：46-49, 2010
2. 三原雅史, 矢倉一, 畠中めぐみ, 服部憲明, 宮井一郎：「近赤外光スペクトロスコピーを用いたニューロリハビリテーションの評価」, Brain and Nerve 62(2)：125-132, 2010
3. 畠中めぐみ, 宮井一郎「リハビリテーション医学-医療の現状と今後の展望 代表的疾患へのアプローチ 脳卒中」, カレントセラピー-27：9-14, 2009
4. 宮井一郎, 三原雅史, 畠中めぐみ, 服部憲明, 矢倉一：「脊髄小脳変性症-What's New?治療リハビリテーション」, Clinical Neuroscience 2009：27(1)99-102. 2009
5. 宮井一郎, 三原雅史, 畠中めぐみ, 矢倉一, 服部憲明：「脳卒中後の機能回復と脳機能画像」, リハビリテーション医学 46(1)：22-26, 2009
6. 宮井一郎, 三原雅史, 畠中めぐみ, 矢倉一, 服部憲明：「Brain science のトピックス 脳機能イメージング・リハビリテーション臨床への応用」, リハビリテーション医学 46(7)：414-418, 2009
7. 三原雅史, 宮井一郎：「脳機能画像診断の進歩 NIRS」, 総合リハビリテーション 37